

2022年3月31日

凸版印刷株式会社

一般社団法人障がい者アート協会

凸版印刷と障がい者アート協会、 「可能性アートプロジェクト 2022」の選考結果を発表

146名 579応募作品から凸版印刷社員によるオンライン選考会で50作品が決定
バーチャル空間上のトッパン小石川本社ビルでオンライン展示会を開催

凸版印刷株式会社(本社:東京都文京区、代表取締役社長:磨 秀晴、以下 凸版印刷)と一般社団法人障がい者アート協会(所在地:埼玉県入間市、代表理事:熊本 豊敏、以下 障がい者アート協会)は、「可能性アートプロジェクト 2022」として「無限の可能性、才能」をテーマとした障がい者アート作品を2021年4月28日(水)より募集しました。

このたび、「可能性アートプロジェクト 2022」選考会を実施し、応募アーティスト146名 579作品から、50作品が選定されました。選考は、オンライン選考会として実施し、凸版印刷の社員 4,248名が参加しました。今回選定された作品は、バーチャル空間上に構築したトッパン小石川本社ビルを会場として開催される障がい者アート展示会「可能性アートプロジェクト展 2022」オンライン展にて、2022年3月31日(木)より展示されます。



「可能性アートプロジェクト展 2022」オンライン展のポスターと作品一覧

© TOPPAN INC.

今回選定された50作品は、2022年4月にオンラインで開催を予定している凸版印刷の新入社員研修の一環として行われるプログラムでも活用されるほか、2022年内に開催予定の「可能性アートプロジェクト展 2022」リアル展示で「プリマグラフィー」(※1)により額装して展示されます。また一部の作品は、凸版印刷が販売促進用に利用する「カートカン」のデザインや、卓上カレンダーとしても展開され、この「可能性アートカレンダー」は障がい者アート協会ホームページで2022年10月に販売予定です。

「可能性アートプロジェクト 2022」に応募された全作品は、障がい者アート協会ホームページの特設ページ(※2)にて公開されます。



過去に実施した「可能性アートプロジェクト 2020」から選定された作品の採用事例

(左)紙製飲料容器「カートカン」(非売品) (右)卓上カレンダー

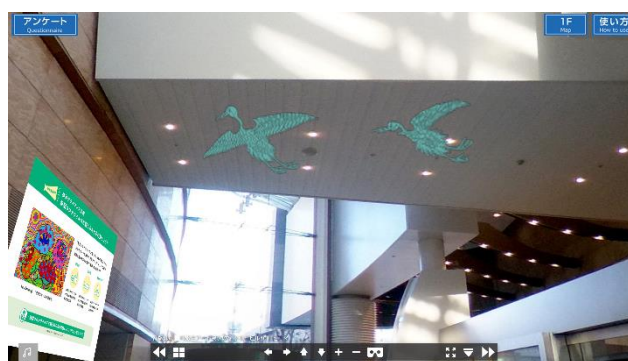
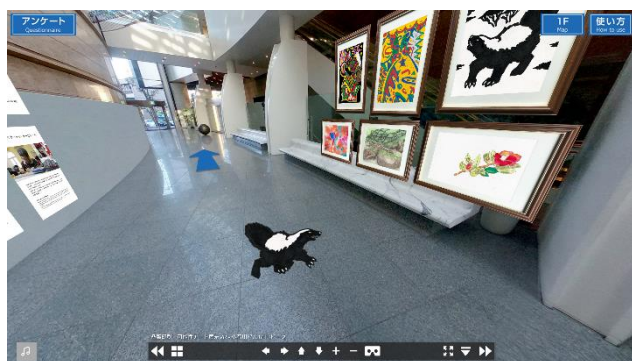
© TOPPAN INC.

オンライン上で展示される「可能性アートプロジェクト展 2022」は、障がいをもつアーティストが描いたアート作品が展示されるだけでなく、作品に描かれたイラストやキャラクターが、バーチャル空間上で動き回る演出を導入。バーチャル空間ならではの空間演出を楽しむことができます。

凸版印刷と障がい者アート協会は今後も、障がいをもつアーティストの作品を付加価値化することを通して、社会的課題解決(障がい者の自立)と経済的事業活動が両立するビジネスモデルの構築を目指します。

■ 「可能性アートプロジェクト展 2022」オンライン展 開催概要

展示会 URL	https://toppanhrd.jp/kanouseiart/index.html
費用	無料
備考	本展示会はオンライン開催となりトッパン小石川本社ビルの現地では開催しておりません。



昨年実施した「可能性アートプロジェクト展 2021」オンライン展の様子

© TOPPAN INC.

■ 「可能性アートプロジェクト」について

凸版印刷は、2018年より「障がい者の自立支援」、「企業の事業活動」と「人材開発」を組み合わせた新たな試みとして「可能性アートプロジェクト」を推進しています。凸版印刷の高精細な画像データ処理技術を活用し、障がいをもつアーティストの作品を付加価値化することを通して、社会的課題解決(障がい者の自立)と経済的事業活動が両立するビジネスモデルを構築することを目指す取り組みです。また、そのビジネスモデルの構築を、凸版印刷の企業研修のプログラムとして採用し、次世代リーダーの育成にも活用しています。「可能性アートプロジェクト」は、2025年大阪・関西万博の「TEAM EXPO 2025」共創チャレンジ(※3)に登録されている活動です。

※1 プリマグラフィー

アメリカにて版画製作の技法として登場したジークレー技法と、凸版印刷が製版・印刷で培った色調整技術を融合させたものです。ジークレーとはフランス語で「吹き付ける、噴霧する」という意味で、美術版画製作の世界において、シルクスクリーン、リトグラフと並ぶ新たな技法として定着しています。

※2 障がい者アート協会ホームページの特設ページ

「可能性アートプロジェクト 2022」に応募された全作品は、下記特設ページに掲載しています。

URL <https://www.borderlessart.or.jp/kap-main/kanouseiapj2022/>

※3 「TEAM EXPO 2025」共創チャレンジ URL <https://team.expo2025.or.jp/ja/challenge/98>




* 本ニュースリリースに記載された商品・サービス名は各社の商標または登録商標です。

* 本ニュースリリースに記載された内容は発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。

以 上

「可能性アートプロジェクト 2022」選定作品一覧 詳細

■選定作品一覧 ※作家名 50 音順で掲載





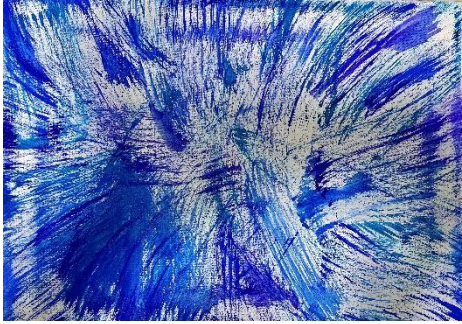

作家名	Aoki Tower	作家名	秋本慎ノ介
作品名	自画像	作品名	未来(あした)の風をうけて
			
作家名	akur	作家名	栗野ゆめ香
作品名	可能性は無限大∞	作品名	目玉焼き
			
作家名	いしだちよこ	作家名	伊藤大貴
作品名	猫	作品名	雪の富士山
			

作家名	岩崎喜裕	作家名	UkoNyan
作品名	だるま にらめっこ	作品名	福さん ～お花好きなニャニーズ～
			
作家名	太田利三	作家名	鹿熊美佐子
作品名	一休み	作品名	しあわせの水色の傘
			
作家名	カタツムリ	作家名	Cano
作品名	可能性は無限大！	作品名	可能性を秘めた芽を育てよう
			
作家名	くみぱんつ	作家名	庫美原
作品名	懐かしい景色	作品名	孔雀 鳳凰 下図
			

作家名	Guwande8053	作家名	kou kisaragi
作品名	光と図形2	作品名	Shall we dance?
			
作家名	河野眞紀	作家名	cocoa float
作品名	チューリップ	作品名	めざめ
			
作家名	笹渕天地	作家名	笹谷正博
作品名	鬼の面	作品名	人間の感情
			
作家名	SAYAKA	作家名	ショウヘイ
作品名	森を見つめる	作品名	産まれてくる生命
			

作家名	しょも	作家名	澄
作品名	【令和乃月】	作品名	莓
			
作家名	太陽	作家名	高井夏輝
作品名	めぐり逢い出逢う色	作品名	深海魚群
			
作家名	タカハシ ユウト	作家名	TAKAMURA NOBORU
作品名	Many faces of Robots	作品名	桜の枯樹
			
作家名	Chii	作家名	土江政美
作品名	無限の生命力	作品名	桜
			

作家名	naomi	作家名	中尾真紀子
作品名	あいり	作品名	友だち
			
作家名	ナリタマサヒロ	作家名	萩原克典
作品名	風葉舞	作品名	やんちゃ
			
作家名	羽津美由紀	作家名	花の月
作品名	いつまでも君を待つ	作品名	心象風景
			
作家名	Hanaba Iro	作家名	ふにやくし。
作品名	猛暑のオアシス	作品名	色の戯れ
			

作家名	machan	作家名	松川永遠
作品名	地球の豊かさ	作品名	レインボーローズ(花言葉は無数の可能性)
			
作家名	命(みこと)	作家名	3210
作品名	インパクトドリーム	作品名	Tiger
			
作家名	MIRI	作家名	向井麻里
作品名	passion	作品名	甘い静けさ
			

作家名	もとこ	作家名	もも
作品名	しょうちゃん	作品名	まばたき
			
作家名	モモモ	作家名	山下重人
作品名	クリスマス	作品名	海星をみる少年
			
作家名	山田貴裕	作家名	わきっちょ
作品名	フェルメール猫 ∞	作品名	無限の可能性・才能 ~今、わたしたち にできること~
			

■「可能性アートプロジェクト 2022」選考会概要

対象者：凸版印刷社員

投票数：4,248 名

投票期間：2021 年 12 月 10 日～2022 年 1 月 11 日

投票方法：全作品一覧を参照し、自身の感性で最大 10 作品（1 アーティスト 1 作品まで）にオンライン投票。

■投票した社員のコメント(一部)

・10 作品に絞り込むことが難しかったです。引き込まれたり、パワーに圧倒されたり、見ていると心が落ち着いたり、様々な作品にはそれぞれの個性や魅力があり、見るだけでも楽しい時間でした。

- ・アーティストの方々のエネルギー、感性がたくさん伝わりました。どの作品も個性があり、素晴らしいです。これからも頑張ってください。
- ・考えさせられる絵や心を動かされる絵が多くありました。素晴らしい創作物をありがとうございます。皆様の創作活動を応援しています。
- ・作品の上手さだけでなく、込められたメッセージなど、大変関心を持ちながら拝見しました。可能性は無限大です。自らの感性に従って私も様々なものを創造していきたいと刺激を受けました。
- ・「可能性アート」と一括りにできないほど多様性に富んでいて大変刺激になりました。これからも意欲的に作品を生み出していただければと思います。
- ・アーティストの皆様のカラーが出ていて、素敵な作品ばかりでした。作品を通じて豊かな感性を感じられ、心が潤い頑張るための活力になりました。

以 上